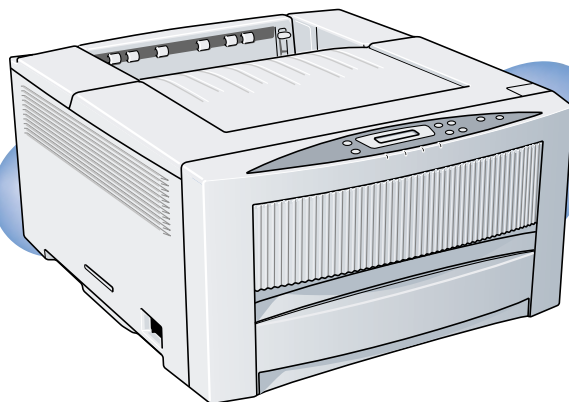
SPEEDIA N4 614

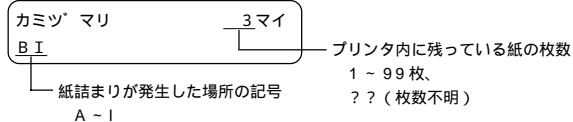
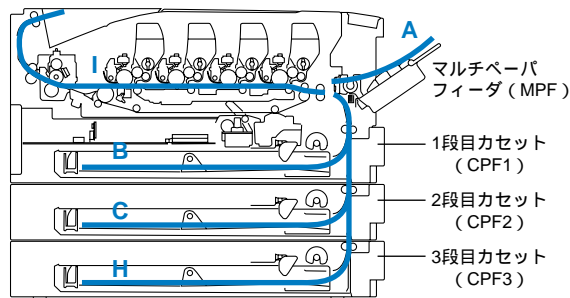
クイックガイド

消耗品の交換、用紙の補給、紙詰まりの処置方法が記載されています。

※ 本書に記載されていない困ったときの処置方法や用紙についての詳しい説明が、CD-ROM内の「ハードウェアマニュアル」に記載されていますので、併せてご覧ください。

1　紙詰まりの処置方法

1.1 紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

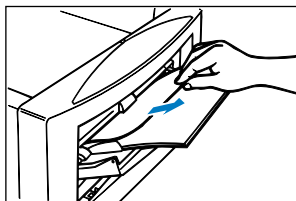
（表示例）

場所記号	紙詰まりが発生した場所
A	マルチペーパフィーダ給紙部
B	1段目カセット給紙部（本体）
C	2段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
H	3段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
I	プリンタ本体内部

用紙が詰まった場所（A～I）と枚数を確認し、以降の方法で全ての用紙を取り除いてください。

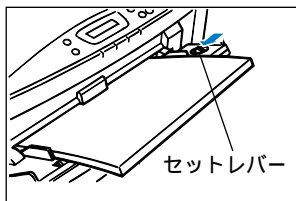
ポイント
冒頭の表示例では、1段目カセット→本体内部の間に3枚の紙が詰まっている事を示しています。

注意！
プリンタ内に詰まっている全ての用紙を取り除いてからフロントカバーを閉めてください。場所によってはプリンタ内部に用紙を巻き込んで取れなくなる恐れがあります。用紙が取り除けなくなってしまったときは、プリンタの電源スイッチを切り、お近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

1.2 マルチペーパフィーダの紙詰まり（カミヅマリ A）

（表示例）

カミヅ゛ マリ　　　　1マイ
A

1 マルチペーパフィーダに詰まっている用紙を取り除きます。

ポイント 用紙が奥まで入って取りにくいときはプリンタ内部から取り除いてください。☞ 1.4 プリンタ本体内部の紙詰まり（4ページ）

2 残りの用紙をセットし直します。
☞ 3 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）（11ページ）

ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、ルーフまたは排紙カバーを開閉すると解除します。

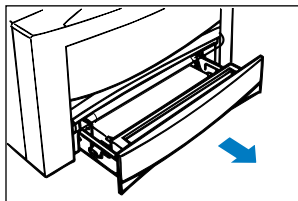
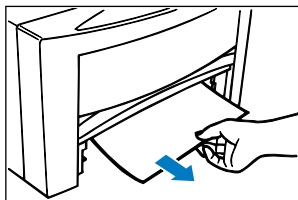
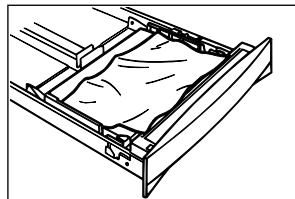
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

2

1.3 カセット内の紙詰まり（カミヅマリ B, C, H）

（表示例）

```
カミヅ゛マリ            1マイ
B
```

ペーパカセット内に詰まっている用紙を取り除きます。
図の表示例（カミヅマリ B）は本体標準のカセット内に用紙が詰まっている事を示しています。オプションの拡張ペーパフィーダご使用のとき（上段から順にカミヅマリ C、H）も同様にカセット内に詰まった紙を取り除いてください。

1 **ペーパカセットを引き出します。**

2 **ペーパカセット挿入口に詰まっている用紙を取り除きます。**

3 **ペーパカセット内にシワになっている用紙があれば取り除きます。残りの用紙が、ツメの下に正しくセットされていることを確認してから、ペーパカセットをプリンタに戻します。（用紙のセット方法は ☞ 2 用紙の補給方法（ペーパカセット）（9 ページ）を参照してください。）**

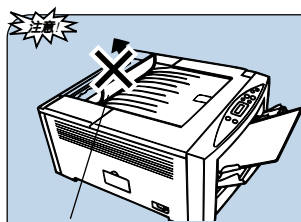
ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、ルーフまたは排紙カバーを開閉すると解除します。

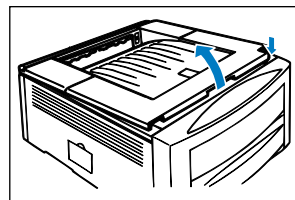
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

1.4 プリンタ本体内部の紙詰まり（カミヅマリI）

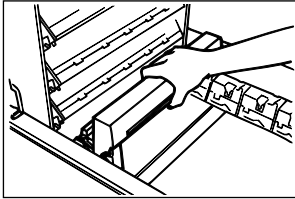
（表示例）

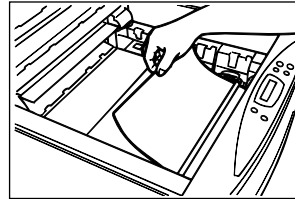
```
カミヅ マリ                3マイ
I
```

プリンタ本体の用紙搬送部から定着部に詰まっている用紙を取り除きます。

排紙口側から引き抜かないでください。

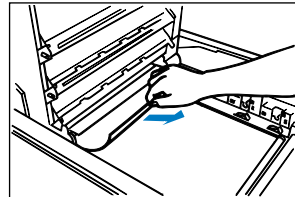
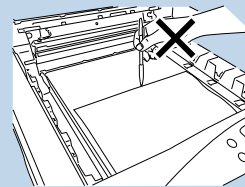
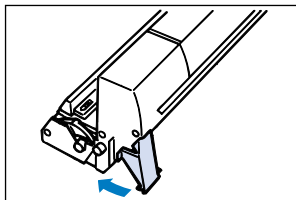
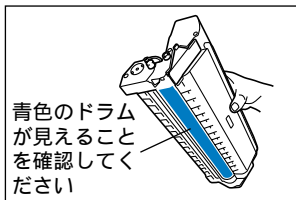
排紙口に途中まで印刷して止まっている用紙は、無理に引き抜かないでください。定着ユニットに挟まっていると思われるときは、以下の手順に従って取り除いてください。

1 **ルーフ上の印刷済み用紙を取り除き、ルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。**

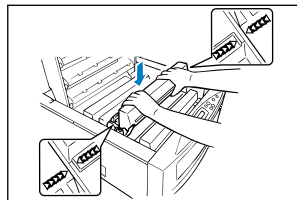
注意

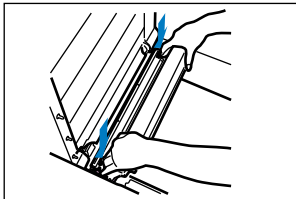
ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などをはさまれ、けがをすることがあります。

2 全てのドラム・トナーセットをプリンタから取り外します。

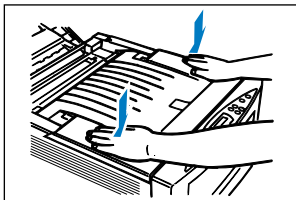
ポイント トナーでテーブルなどを汚さないよう、取り外したドラム・トナーセットを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
また、取り外したドラム・トナーセットは布などをかけ、直接光が当たらないようにしてください。

3 詰まっている用紙の先端をつまみ、用紙を引き抜きます。

ポイント 詰まっている用紙の印刷は定着されていませんので、触れるとトナーで手が汚れます。印刷面に触れないようご注意ください。

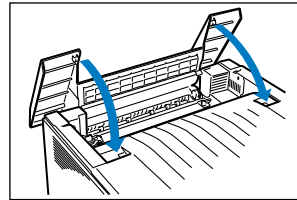
ポイント 用紙が転写ベルトに静電気で吸着していますが、ピンセットなどの先のとがったものを使用しないでください。転写ベルトにキズが付くと画像不良やベルト切れの原因になります。

4 用紙の先端が定着器に入っているときは、用紙の後端をつまんで引き抜きます。

5 **ドラム・トナーセットのスタンド（紫色）を閉じます。**

ポイント　スタンドを閉じないでプリンタに取り付けると故障の原因になります。

ポイント　ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。

6 **ドラム・トナーセットの左右の ▷▷▷▷ マークとプリンタ側にある ▷▷▷▷ マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。**
手順 5 〜 6 をくり返して、取り外した全てのドラム・トナーセットをプリンタに取り付けます。

ポイント　ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図の例はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

7　**ドラムトナーセットの左右にある▶▶▶▷マークを手で押して、確実にセットされていることを確認してください。**

確実にセットされていないと、色ズレや印刷カスレになることがあります。

8　**ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。**

ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

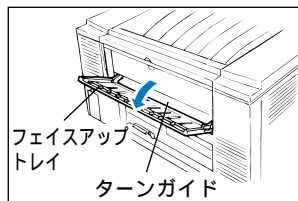
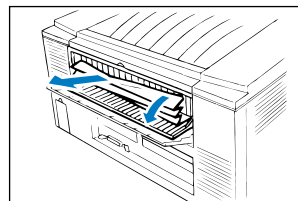
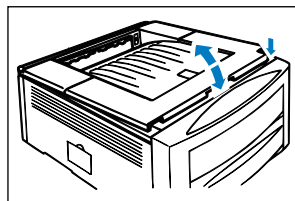
ルーフの両端が確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと印刷不良が発生することがあります。

9　**排紙カバーを閉めます。**

通常表示（例）

インサツ　デキマス

10　**メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示になれば紙詰まりの処理は完了です。ウォームアップ終了後に、紙詰まりのため印刷されなかったページ以降が、自動的に印刷を再開します。**

1.5 ターンガイド部の用紙を取り除く

「1.1」項～「1.4」項の作業をしても「カミヅマリ」表示が消えないときは以下の手順でターンガイド部の用紙を取り除きます。

1 **プリンタ背面のフェイスアップトレイとターンガイドを開けます。**

2 **ターンガイドの内側に詰まっている用紙があれば取り除き、ターンガイドとフェイスアップトレイを閉めます。**

3 **ループ解除ボタンを押して、ループを一度開・閉します。**

通常表示（例）

インサツ　デキマス

4 **メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示になれば紙詰まりの処理は完了です。**

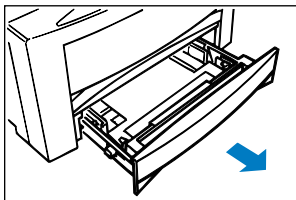
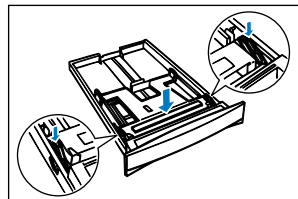
ポイント　ウォームアップ終了後に、紙詰まりのため印刷されなかったページ以降が、自動的に印刷を再開します。

ポイント　詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、プリンタ内にまだ用紙が残っている可能性があります。再度、「1.2」項から確認し、どうしても見つからない場合は、お近くのカシオテクノ・サービスステーション にご連絡ください。

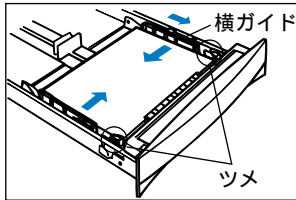
2　用紙の補給方法（ペーパカセット）

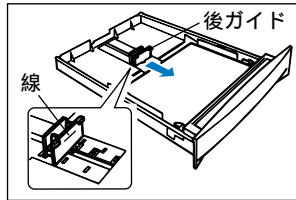
ヨウシ　ホキュウ
CPF1　A4

図のような表示でプリンタが停止しているときは、ペーパカセットに用紙を補給してください（図の例は本体カセットにA4サイズの用紙を補給する事を表示しています）。

※ **以下の手順は本体カセット（1段目）に用紙を補給する手順ですが、オプションの拡張ペーパフィーダも同様です。**

1 ペーパカセットをプリンタから抜き出し、平らな場所に置きます。

2 ペーパカセットの底板（金属板）が上がっているときは、底板を手で押しながら、図の位置（左・右）にある黒いロックレバーを押して底板をロックします。

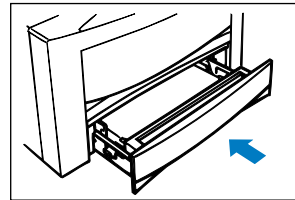
通常底板はプリンタから取り出したときに下がりますが、ロックレバーに手が触れるなどして底板が上がることがあります。底板が上がったままプリンタに取り付けると故障の原因になりますので、必ず底板を下げてからプリンタに取り付けてください。

N4-614Pはバネが強いため、底板が上がりやすいので特にご注意ください。

3 用紙の四隅をそろえてペーパカセットにセットし、横ガイドのロックレバーをつまみながら用紙にピタリと合わせた位置に調整します。

ポイント このとき、用紙がツメの下になっていることを確認してください。

4 後ガイドの固定クリップをつまみながら用紙に軽く当たる位置に調整します。

ポイント <u>このとき固定クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。</u>

ポイント 用紙の量は後ガイドの線より下になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。

ポイント プリンタは後ガイドの位置でカセットにセットされた用紙サイズを検出しています。用紙サイズ誤検出の原因になりますので、後ガイドは正しい位置に固定してください。図の例はA4横サイズの用紙をセットした場合です。

5 ペーパカセットをプリンタに奥までしっかり押し込みます。

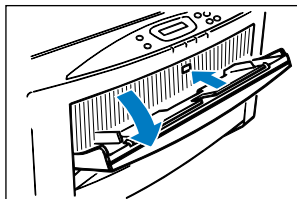
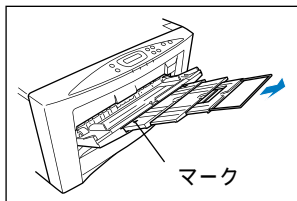
通常表示

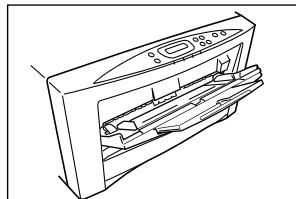
インサツ　デキマス

6 メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示になると準備完了です。

3　用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）

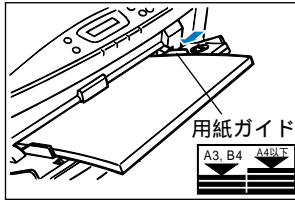
```
ヨウシ　ホキュウ
          MPF　　A3
```

図のような表示でプリンタが停止しているときは、マルチペーパフィーダに用紙を補給してください(図の例はマルチペーパフィーダにA3サイズの用紙を補給する事を示しています)。

1　プリンタ正面の図の部分を押してマルチペーパフィーダを開けます。

2　図のように補助トレイの全ての段が“カチッ”とロックし、1段目左右の△マークが見える位置まで引き出します。

ポイント　補助トレイの全ての段が“カチッ”とロックしていることを確認してください。

3　A4サイズ（横送り）をセットするときは、一番下の段を残して、その他の段を押し込みます。

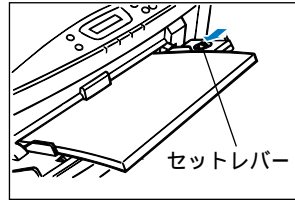
ポイント　補助トレイに重たい物を乗せたり、無理な力を加えないでください。破損することがあります。セットできる用紙は以下の通りです。

	A4横以下	B4縦～A3縦	A3縦より大きい紙
N4-614※1	100枚	30枚	1枚
N4-614P※2	30枚	20枚	1枚

※1　N4-614は64g/m^2の普通紙をセットしたときの枚数です。
※2　N4-614Pは128g/m^2の厚紙をセットしたときの枚数です。

4 用紙の四隅をそろえ、プリントしたい面を上にして、差し込み口の奥に軽く突き当たるまで入れます。次に用紙ガイドを用紙にピタリと合わせた位置に調整します。

ポイント　セットした用紙が用紙ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。

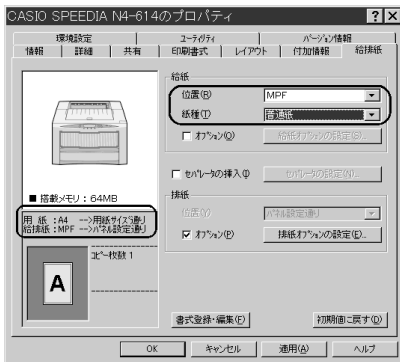
ポイント　用紙を正しくセットしないと斜め送りや紙詰まりになることがあります。

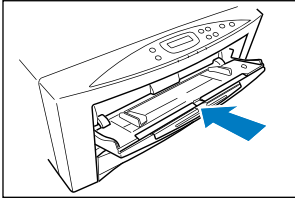
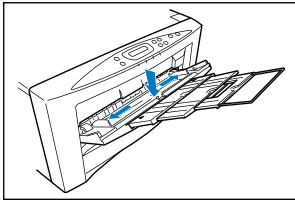
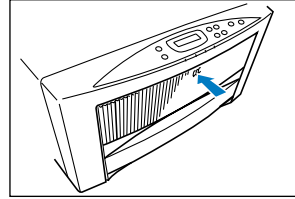
ポイント　折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。

5 セットレバーを左にスライドさせてマルチペーパフィーダのロックを解除します。

ポイント　OHPフィルムやハガキ、ラベル紙、厚紙、長尺紙に印刷するときはフェイスアップ排紙（プリンタ背面側から印刷された用紙が出る排紙方法）で印刷してください。
フェイスダウン（プリンタ上面に印刷された用紙が出る排紙方法）で印刷すると、用紙が丸まったり、途中でひっかかって紙詰まりになることがあります。特に長尺紙は、印刷されて出てきた用紙が再びマルチペーパフィーダに巻き込まれることがあります。

注意！　他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になる事があります。

ポイント

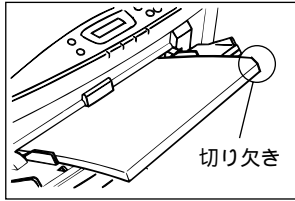
プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPFにし、特殊紙の場合は排紙口をアッパートレイ（フェイスアップ）にして印刷してください。用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印刷されない場合があります。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

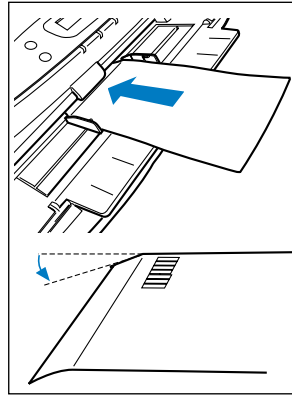
マルチペーパフィーダを閉じるときは

1 マルチペーパフィーダ上の用紙を取り除き、補助トレイを押し込みます。

2 用紙ガイドをいちばん外側まで開き、底板を押し下げてロックします。

3 マルチペーパフィーダを閉じて“カチッ”とロックします。

☑ポイント 底板を押し下げないとマルチペーパフィーダを閉める事ができません。

特殊紙の印刷方法

OHP フィルム、ラベル紙、厚紙、官製ハガキ、封筒などの特殊紙はマルチページフィーダ（MPF）にセットし、アッパートレイ（フェイスアップ）で排紙してください。

OHP フィルムのセット方向

OHP フィルムを良くさばいて、角が欠けている部分が図の向きになるようにセットしてください。

封筒のセット方向

開封した状態で図のように封筒の底の方から給紙するようにセットしてください。

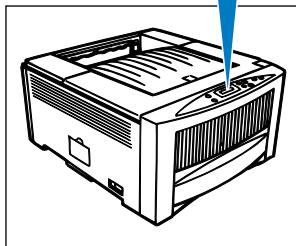
OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの、複数の紙が付着しやすい用紙は、よくさばいてからセットしてください。
そのほかにも特殊紙に印刷するときは、ご注意が必要です。プリンタに付属の CD-ROM 内に収録の ハードウェアマニュアル「2.4 特殊紙の印刷方法」および「付録 2. 用紙について」をご覧ください。

プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPF、排紙口をアッパートレイ（フェイスアップ）にして印刷してください。

用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印字されない場合があります。

4　ドラムセットの交換方法

（表示例）

ド゛ラム　コウカン　　　　KYCM

メッセージランプが点滅し、左の様なメッセージが表示されてプリンタが停止しているときはドラムセットの交換時期です。
次の手順にしたがって新しいドラムセットに交換してください。

この表示のとき、取消ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり印刷を再開します。
ただし、このまま印刷すると印刷が薄くなったり、画像が汚れるようになります。
さらに印刷を続けると、プリンタの故障の原因となりますので、早めにドラムセットを交換してください。

4.1 古いドラムセットを取り外します

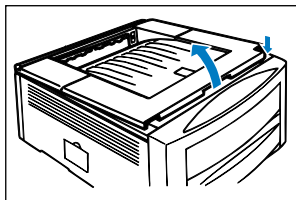
（表示例）

ド゛ラム　コウカン　　　　K

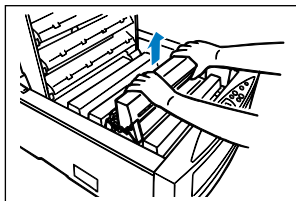
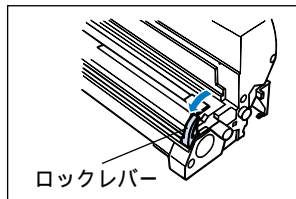
K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

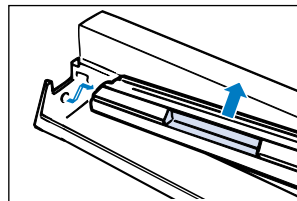
1 どの色のドラムセットが交換時期かを確認します。図の例ではブラックのドラムセットが交換時期です。

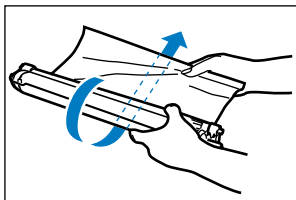
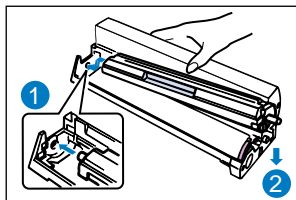
ポイント　通常イエロー、シアン、マゼンタは同時に交換時期になり、ブラックは単独で交換時期になります。

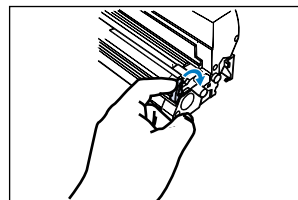
ポイント　イエロー、シアン、マゼンタのドラムセットは、できるだけ3色同時に交換してください。もし、1色又は2色だけが交換時期になったときは、取消ボタンを押して3色全部が交換時期になるまで使用してください。

2 ルーフ上の用紙を取り除きます。ルーフの右手前にあるルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。

注 意

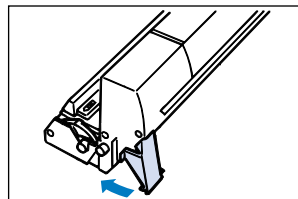
ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などをはさまれ、けがをすることがあります。

3 使用済みのドラム・トナーセット（ドラムセットとトナーセットが組み合わさった現像ユニット）を図のように持ち、ゆっくり引き出します。

ロックレバー

4 テーブルなどの平らな場所に紙を下に敷いてドラム・トナーセットを置き、図のようにロックレバー（紫色）を起こしてドラムセットのロックを解除します。

5 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、古いドラムセットをトナーセットから取り外します。

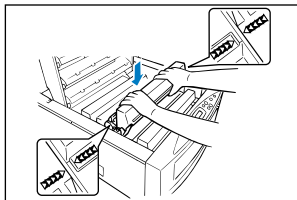
4.2 新しいドラムセットを取り付けます

1 トナーセットと同じ色の新しいドラムセットを箱から取り出し、保護シートをはがします。

2 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットのシャフトをトナーセットの穴に差し込み（⬅1）反対側のシャフトをトナーセットの溝にセットします。（⬇2）

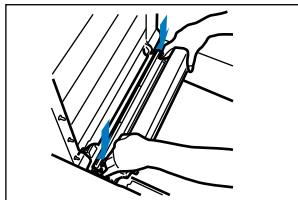
ドラムセットとトナーセットは必ず同じ色のものを組み合わせてください。

ドラムは手で回さないでください。

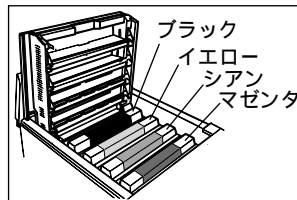
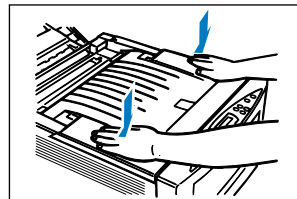
3 ロックレバー（紫色）を倒してドラムセットをトナーセットに固定します。

ロックレバーが倒れないときは、ドラムセットを取り付け直してください。

4 ドラム・トナーセットを持ち上げ、スタンド（紫色）を閉じます。

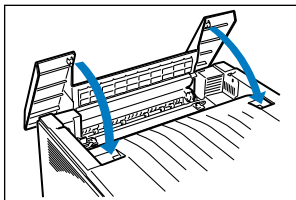
スタンドを閉じないでプリンタに取り付けると故障の原因になります。

ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。

5 **ドラム・トナーセット左右の▶▶▶▷マークとプリンタ側にある▶▶▶▷マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。**

ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図の例はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

6 **ドラム・トナーセットの左右にある▶▶▶▷マークを手で押して確実にセットされていることを確認してください。**

確実にセットされていないと、色ズレや印刷カスレになることがあります。

7 **ここまでの手順をくり返して、使用済みになった全ての色のドラムセットを新しいものと交換します。**

8 **ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して、「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。**

ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

ルーフが確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

9 排紙カバーを閉めます。

（通常表示）

インサツ　デキマス

10 メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示に戻ればドラムセットの交換は完了です。

ブラックのドラムセットを交換したときは、必ず同梱の定着クリーナーも交換してください。交換せずに使用すると故障の原因になることがあります。

☞ 6 定着クリーナの交換方法（27 ページ）

5　トナーセットの交換方法

（表示例）

トナー　コウカンヨコク　ＫＹＣＭ

⬇ 取消 ボタンを押す

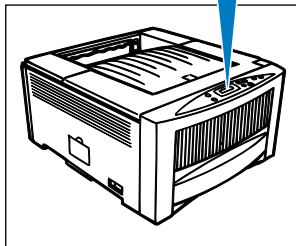
メッセージランプが点滅し、左の様なメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、トナーセット内のトナーが残り少なくなったことを示しています。早めに新しいトナーセットをご準備ください。

トナー　コウカンジキ　ＫＹＣＭ

⬇ 約 20 枚

取消 ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり、左の様なメッセージが表示されて印刷を再開します。

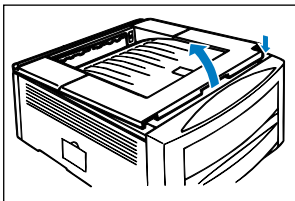
トナー　コウカン　ＫＹＣＭ

メッセージランプが点滅し、左の様なメッセージが表示されてプリンタが停止しているときはトナーセットの交換時期です。
次の手順にしたがって新しいトナーセットに交換してください。（このときルーフを開けて、トナーセットの上面をかるくたたくと、もう少しプリントできることがあります）

「トナーコウカンジキ」と表示されている間は、A4 サイズの用紙に平均印字率 5% で約 20 枚プリントできますが、平均印字率が 5%より濃い画像をプリントすると、途中でトナーが無くなり、プリント画像が薄くなったりプリント画質が低下することがあります。このようなときは新しいトナーセットに交換してください。そのまま印刷し続けると、ドラムセットが劣化して交換が必要になる場合があります。

5.1 古いトナーセットを取り外します

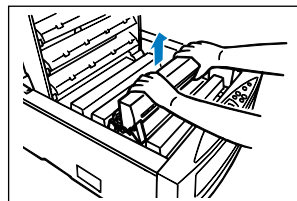
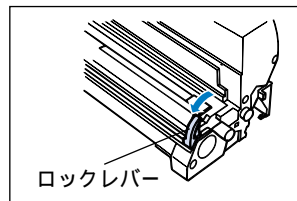
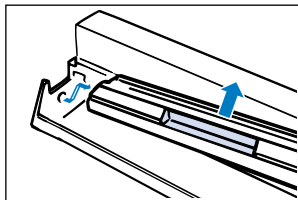
（表示例）

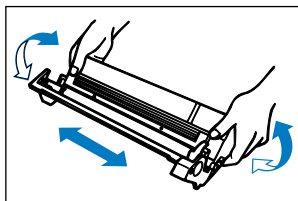
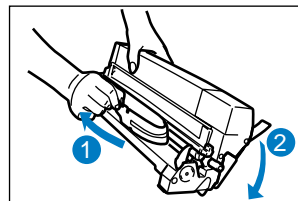
トナー　コウカンジキ　　　　CM

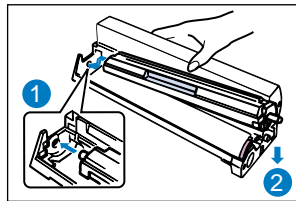
K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

1 **どの色のトナーセットが交換時期かを確認します。図の例では C（シアン）と M（マゼンタ）のトナーセットの交換が必要です。**

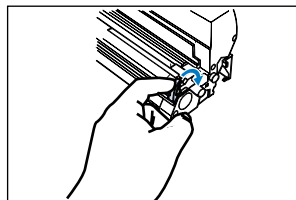
2 **ルーフ上の用紙を取り除きます。ルーフの右手前にあるルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。**

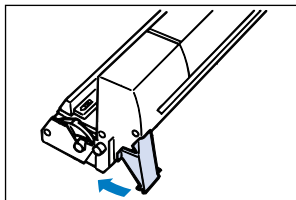
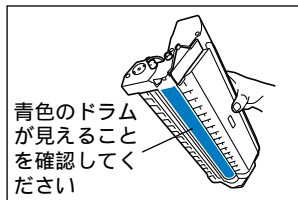
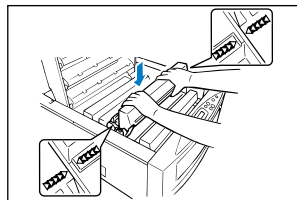
⚠ 注 意

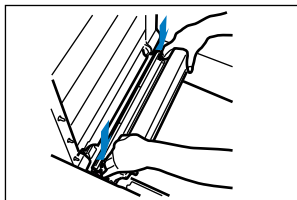
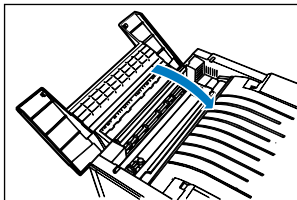
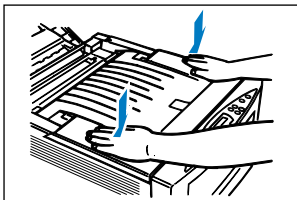
ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などをはさまれ、けがをすることがあります。

3 **使用済みのドラム・トナーセット（ドラムセットとトナーセットが組み合わさった現像ユニット）を図のように持ち、ゆっくり引き出します。**

4 **テーブルなどの平らな場所に紙を下に敷いてドラム・トナーセットを置き、図のようにロックレバー（紫色）を起こしてドラムセットのロックを解除します。**

5 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットを古いトナーセットから取り外します。

5.2 新しいトナーセットを取り付けます

1 ドラムセットと同じ色の新しいトナーセットを箱から取り出し、中のトナーが片寄らないように図の向きによく振ります。

2 トナーシールテープ①②を剥がします。

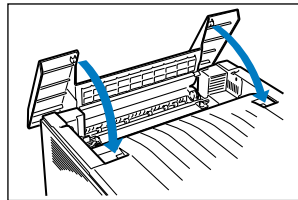
> ポイント　トナーシールテープを剥がすときにトナーがこぼれることがあります。下に紙などを敷いて作業してください。

> ポイント　ドラムを手で回さないでください。

3 古いトナーセットから取り外したドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットのシャフトを新しいトナーセットの穴に差し込み（←①）反対側のシャフトをトナーセットの溝にセットします。（↓②）

4 ロックレバー（紫色）を倒してドラムセットをトナーセットに固定します。

> ポイント　ロックレバーが倒れないときは、ドラムセットを取り付け直してください。

5 ドラム・トナーセットのスタンド（紫色）を閉じます。

- ✓ポイント スタンドを閉じないでプリンタに取り付けると故障の原因になります。
- ✓ポイント ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。

6 ドラム・トナーセット左右の ▷▷▷▷ マークとプリンタ側にある ▷▷▷▷ マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。

✓ポイント ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図の例はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

7 ドラム・トナーセットの左右にある ▷▷▷▷ マークを手で押して確実にセットされていることを確認してください。

8 ここまでの手順をくり返して、使用済みになった全ての色のトナーセットを新しいものと交換します。

9 ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して、「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。

ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

ルーフが確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

10 排紙カバーを閉めます。

（通常表示）

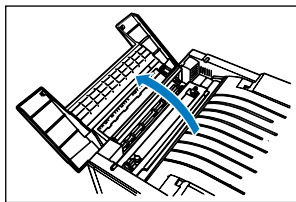
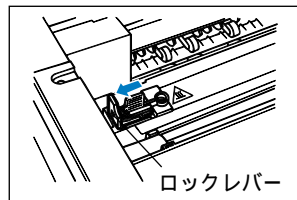
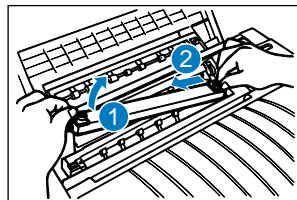
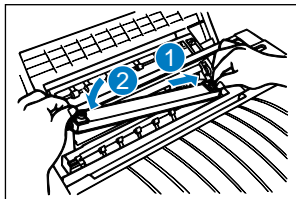
インサツ　デキマス

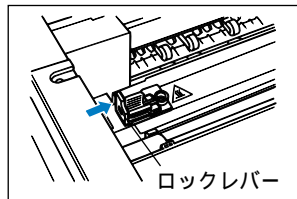
11 メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示に戻ればトナーセットの交換は完了です。

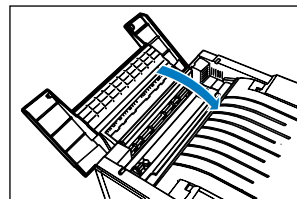
6　定着クリーナの交換方法

新しいブラックドラムセットには定着クリーナが同梱されています。ブラックドラムセットを交換するときは、定着クリーナも同時に交換してください。

⚠ 注 意

定着器は高温になりますので定着クリーナ交換の際は、以下に記載されている取っ手やロックレバー（紫色）以外には触れないでください。やけどの原因になります。

1 **排紙カバーを後方に開けます。**

2 **定着クリーナのロックレバー（紫色）を左にスライドしてロックを解除します。**

3 **古い定着クリーナの取っ手（紫色）を図のように持って左側を持ち上げながら（⬆❶）左上方向に取り外します。（⬅❷）**

4 **新しい定着クリーナの取っ手（紫色）を図のように持ち、（定着クリーナの取っ手が小さい方が右、大きい方が左です）定着クリーナの右側を定着器の溝に差し込み（➡①）左端を定着器の溝にはめこみます。（⬇②）**

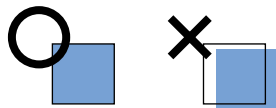
ポイント　図のように斜めに入れないと定着器の溝に入りませんのでご注意ください。

5 **ロックレバーを右にスライドさせて定着クリーナを固定します。**

ポイント　ロックレバーの▼マークと定着器の▲マークが向き合う位置に固定してください。

6 **排紙カバーを閉めます。**

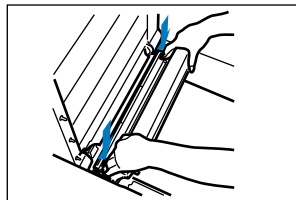
7　色ズレの調整方法

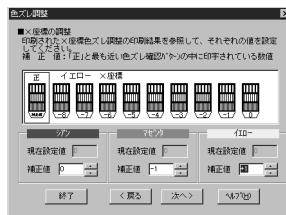
プリンタを設置（移動）したときや、ドラムセット又はトナーセットを交換したときは、印刷結果が色ズレすることがあります。このようなときは以下の手順で調整してください。

1 セルフプリント（ステータスシート）で色ズレの具合を確認します。

ステータスシート上の色ズレ確認マークが下記〇のようになっていれば調整の必要はありません。×のようにに色ズレしているときは手順 2 に進んでください。

＜ステータスシートの印刷方法＞

- [オンライン]ボタンを押しながら電源を ON します。
- [＊セルフ　インジ＊]と表示されたら[オンライン]ボタンを離します。
- ウォームアップが終了するとステータスシートが印刷されます。

2 ルーフを開けて、ドラムトナーセット（4 色全て）の▷▷▷▷マーク部分を手で押して確実に取り付けられているか確認します。

手順 1 に戻り、ステータスシートで色ズレの具合を確認し、まだ色ズレしているときは次の手順 3 で調整します。

3 操作パネル又は色ズレ調整ツールを使用して色ズレを調整します。

プリンタの操作パネルによる調整方法とパソコン側にインストールした色ズレ調整ツールによる調整方法（左図参考）の 2 通りがあります。

詳しくは、プリンタに付属の CD-ROM 内に収録の☞ ハードウェアマニュアル「付録 9. 色ズレの調整」をご覧の上調整してください。

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543 東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部	電話 03-5334-4550
西日本営業部	電話 06-6243-2100
中部営業部	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道支社	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国支社	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州支社	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

クイックガイド

2001年5月21日　第1版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

2001 PRINTED IN JAPAN